

授業科目 救急医学・演習

【担当教員名】 朱敏秀、石川知志、月城慶一 桐本光、椿淳裕、渡辺恵子 鈴木真由美、石塚敏子、岡田史 川上心也		対象学年	3	対象学科	理学・作業・義肢
		開講時期	前期	必修・選択	必修（理学・作業）選択（義肢）
		単位数	1	時間数	30
【概要・一般目標：GIO】 一般市民が行うことのできる応急救護の概念を理解し、CPR（心肺蘇生法）とAED（自動体外式除細動器）を組み合わせた応急救護法を実施できる。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 各疾患の救急対応法を理解できる。 2. 応急救護の概念や蘇生の連鎖、感染の予防について理解できる。 3. 気道、呼吸、循環の初期の評価について理解し、実施できる。 4. 気道の確保について理解し、実施できる。 5. 効果的なCPRを実施できる。 6. 病気やけがに応じた対処法を理解し、実施できる。 7. AEDとその使用方法を理解し、CPRと組み合わせて実施できる。 8. 応急救護法が必要な現場に遭遇した場合の対処法を説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション				
2	スポーツ現場での救急対応			1	講義（石川知志）
3	精神科救急とその対応			1	講義（渡邊良弘）
4	内科的救急対応 1			1	講義（朱敏秀）
5	内科的救急対応 2			1	講義（朱敏秀）
6	応急救護法とは			2	以下、演習
7	蘇生の連鎖と感染の予防			2	（月城慶一、桐本光、椿淳裕、
8	気道、呼吸、循環の初期の評価			3	渡辺恵子、鈴木真由美、石塚敏子、
9	気道の確保			4	岡田史、川上心也）
10	CPR（心肺蘇生法）			5	
11	病気やけがに応じた対処法			6	
12	AED（自動体外式除細動器）を用いた応急救護 1			7	
13	AED（自動体外式除細動器）を用いた応急救護 2			7	
14	知識の確認			8	
15	まとめ			8	
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 （必ず購入する書籍）		MEDIC FIRST AID(R) BasicPlus (MEDIC FIRST AID International Inc. の登録商標です)		一般購入はできません	
参考書		救急蘇生法の指針 市民用・解説編 改訂 3 版 日本救急医療財団心肺蘇生法委員会（監修）		へるす出版	2006・1,260円
その他の資料					
【評価方法】 出席状況、授業態度、筆記試験で総合的に評価する。		【履修上の留意点】 ・テキスト・教材費（一般購入はできません）として4030円が必要となります。 ・30名程度のグループで行い、グループは前年度中に発表します。 ・遅刻・早退がなく、満身にコースを修了した場合、修了カードが発行されます。			